

多面的機能支払事務管理支援システム(GIS版)について紹介します

今回紹介する団体: 水土里ネット兵庫

取組概要

内容: 市町から提供を受けた農地情報(地番情報)と兵庫県独自の事務支援システムの一筆地調書(活動組織一筆地情報)をマッチングさせることで、市町単位での一括図化が可能(水土里情報WEB版の背景地図利用可能)

- 経緯:
- ・ 本県では、多面的機能支払交付金の認定範囲をGIS等のシステムで管理している市町は、一部を除きほとんど見られない。
 - ・ 多くの市町では、活動組織から当初提出された一筆地調書(エクセル)と図面(ペーパー)で管理しており、5年の活動期間中の認定範囲の変更については、エクセルの修正のみで、組織に図面の再提出は求めず市町担当者が当初図面に手書きで修正を行っている場合が多く、修正漏れ等により活動期間中に調書と図面の内容が必ずしも一致していない場合が多々見受けられる。
 - ・ システム未導入市町については、GISソフト購入やシステム構築費など、導入には多額の費用を要し、推進交付金の減少もあって個々の費用捻出が困難になっている。
 - ・ これらの事情を踏まえ、Web版水土里情報システムの加入市町を対象に、当会が購入しているGISAp SmartFormを利用して、今回システム構築を行った。(市町の費用負担なし)

認定地番(一筆地調書)

データを读込

① 活動組織一覧
② リンクビュー
③ 農地筆一覧
④ 農地筆位置プレビュー

- ① 活動組織一覧
- ② リンクビュー
活動組織の報告資料等のファイル
- ③ 農地筆一覧
活動組織の保安全管理する筆の一覧
- ④ 農地筆位置プレビュー
選択した農地筆の全体位置

読み込みデータで組織の活動範囲を地図表示

取組による効果

- ・システム利用前は、図面と一筆地調書が別々に管理されていたが、本システムを利用して一筆地調書と図面を連動させることにより、活動期間中に変更があった場合でもシステムの農地筆一覧を変更すれば図面も変更される(逆も可)ので、認定地番と図面は常に一致するようになる。

農地筆一覧 (黄色行は図面無し)

字名: 地番: 検索

認定農用地	農地維持	小規模集落	区分	字名	地番	所有者(耕作書)	面積(坪)	面積(㎡)	面積(草地)	造林農地	中山間認定地	備考
○			農振農用地	二ツ屋	180	洲本 博雄	1485	0	0			
○			農振農用地	二ツ屋	161-1	洲本 博雄	1818	0	0			
○			農振農用地	二ツ屋	162-1	明石 博雄	890	0	0			
○			農振農用地	二ツ屋	162-1	明石 博雄	890	0	0			
○			農振農用地	二ツ屋	162-1	明石 博雄	890	0	0			

(例) 162-1を③農地筆一覧に追加

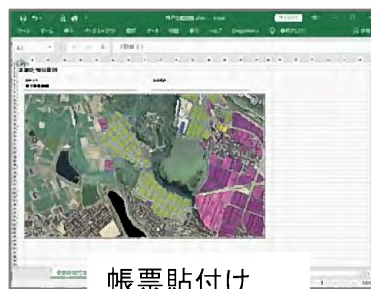


図面に自動で追加

- ・リンクビューを設定することにより、活動組織ごとの書庫としての利用ができる。
- ・図面印刷についても分割印刷や予め作成した帳票に貼り付けることも可能。



帳票貼付け



リンクビューから直接ファイルを開覧、修正

今後の活用予定

本システムは、昨年度に本格稼働したばかりであり、導入市町はまだ少ないが多面的機能支払事務管理支援システム(Excel版)と連動させることにより、本システムで活動組織の事務管理ができるため、市町事務負担の軽減が見込まれている。

最新の農地情報(地番情報)が必須という条件はあるものの、昨年度から実施している本システムの操作研修や市町へ直接出向いての説明など、できるだけ多くの市町の導入を目指す。

GISシステムのバージョン情報

GISAp SmartForm Ver.4.7.0.3

■お問い合わせ先

兵庫県土地改良事業団体連合会 事業部情報管理課 078-341-0592(直通)